◆その他

・発表の場が欲しい。
・他グループの活動再開も目に見えるようになってきたが、グループの状況があるので一概に言えないが、３密など対処できているのだろうかと中心者の御苦労が忍ばれる状況もあるようだ。
・グループ独自の動きは自主活動とは言えるが、コロナ禍の中では社協の全面的バックアップが必要であり、ある程度強制力があっても良い事案もあるのではないだろうかと思う。
・非接触性体温計の早期の採用で入り口からのSTOPは必要ではないか。高額で、品薄、人員の配置等理解はできるが、社協でクラスター発生があってはならないと思う。
・平均年齢の高いものばかりの集いです。目的も希望もそれぞれの思いもありますが、思うようには…。一週間一度の顔合わせも一つの目的です。出来る限り皆さんにご迷惑かけないように…。
・経験の浅い方達の活動不足に共って定例会の欠席、グループ離れになりかねない現状をどのように接し対処していければいいのか考え続けています。また、他のことについても社協職員を交えてアドバイスを聞かせていただける場が欲しく思います。

「ボランティア活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定しました！

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたボランティア活動における対応について、「ボランティア活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定いたしました。人と人との物理的距離が離れていても、心と心の距離は近づけることができます。感染予防対策実施の必要性にも十分ご理解いただき、本ガイドラインを活用いただければ幸いです。

2. 基本事項

✿人と人との距離等：３密（密閉、密集、密接）の回避を原則とします。
✿高齢者や基礎疾患のある方への配慮をお願いいたします。
□活動場所に着いたらまず手洗い・消毒をし、帰宅後もすぐに手洗い・消毒をするように周知徹底をしてください。
□ボランティア、参加者共に発熱などの症状が無くてもマスクを着用してください。

□人と人との間隔は、できるだけ２ｍ（最低１ｍ）空けてください。
☆対人距離が確保できない場合は、人数制限等の実施をお願いいたします。
□座席を配列する場合には、可能な限り対面にならないようにしてください。
□こまめに換気し、空気を入れ替えるようにしてください。
□ボランティア、参加者共に次の症状に該当する場合、参加は控えてください。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害・眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、37．5℃以上の発熱など

3. 会議・イベント等開催時の留意事項

✿使用する会場等の利用条件の確認をお願いします。
□会議等への参加は最低限の人数にとどめましょう。
□会議・活動時間を短縮するなどの工夫をお願いいたします。
□可能であれば、ビデオ会議などを積極的に活用しましょう。

4. 感染経路が把握できる体制整備

参加者の氏名はもちろん、住所や電話番号の聞き取りを行い、万が一、ボランティアを含む参加者内で感染者が現れた場合に感染経路を追えるようにしてください。

基本的感染対策を満たすことが難しい活動や、判断が難しい活動については、個別でボランティアセンターにご相談ください。

富田運営委員長よりメッセージ

中国発出の新型コロナウイルス騒動の中、ボランティアの皆様はいかかお過ごしですか。テレビ新聞等の報道を見ていますと、どの様に対応し、活動してよいのか迷うところですね。

先日、ボランティアグループ活動のアンケートを提出いただき、ありがとうございました。皆様がいろいろと考え、活動を再開されている様子に感動しました。第二波・第三波と心配されています。これからの活動についても、社協や運営委員会と相談しながら、決して無理のないように活動してください。暑い日が続いています。お体には充分気をつけてください。

連絡事項

第２回しまもと社協まつりを中止します。

地域福祉活動の啓発を目的として、９月に開催を予定していた「しまもと社協まつり」は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、今年度の開催を中止します。

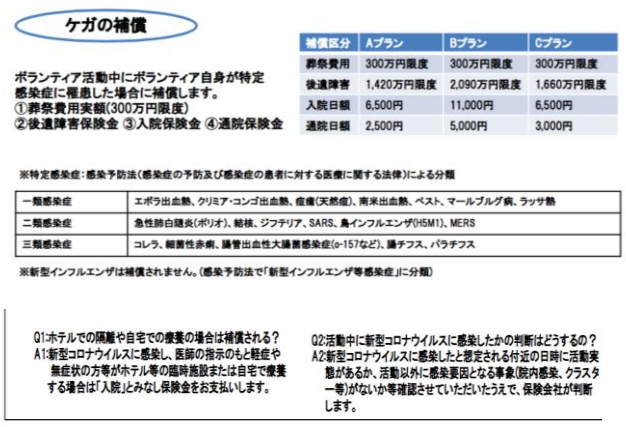
ボランティアの皆様にはたくさんのご協力をいただいて開催してまいりましたが、現状では複数の人が密に集まる事業は難しいと判断いたしました。

なお、ボランティアフェスティバルを単独で実施するかどうか、ボランティアセンター運営委員会やボランティアグループ代表者会で検討してまいります。

社協事務局

ボランティア活動保険 新型コロナウイルス感染症 対応について

ボランティア活動保険の特定感染症に、新型コロナウイルスが追加され、補償対象となりました。（令和２年２月１日に遡り補償されます。）



詳しくは大阪府社会福祉協議会 HP をご確認ください。

http://www.osakafusyakyo.or.jp/new_information/article.php?id=451&old=